

平成 24 年 度

# 岡山県公営企業会計決算審査意見書

岡山県監査委員

岡監発 第 55 号  
平成25年7月16日

岡山県知事 伊 原 木 隆 太 様

岡山県監査委員	蜂 谷 弘 美
岡山県監査委員	遠 藤 康 洋
岡山県監査委員	與 田 統 充
岡山県監査委員	佐 藤 由美子

平成24年度岡山県公営企業会計決算審査について

地方公営企業法第30条第2項の規定により、審査に付された平成24年度岡山県公営  
企業会計決算を審査したので、その結果について次のとおり意見書を提出します。



平成24年度岡山県公営企業会計決算審査意見書

目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の実施方針	1
第3	審査の結果と意見	1
	(1) 岡山県営電気事業会計	2
	(2) 岡山県営工業用水道事業会計	4
第4	決算の概要	6
1	岡山県営電気事業会計	6
	(1) 決算の状況	6
	(2) 損益計算書	10
	(3) 貸借対照表	14
	(4) 付 表	18
	(5) 参 考	20
2	岡山県営工業用水道事業会計	22
	(1) 決算の状況	22
	(2) 損益計算書	26
	(3) 貸借対照表	30
	(4) 付 表	34
	(5) 参 考	36



# 平成24年度岡山県公営企業会計決算審査意見書

## 第1 審査の対象

岡山県営電気事業会計

岡山県営工業用水道事業会計

## 第2 審査の実施方針

決算審査に当たっては、事業の運営が地方公営企業法第3条（経営の基本原則）の趣旨に沿って行われたか、会計諸手続が地方公営企業法及び関係法令に基づく会計諸原則に準拠して処理されているか、決算書類の計数は正確であるか、財務諸表は事業の経営成績及び財政状態が適正に表示されているかに主眼を置き、関係諸帳簿その他証拠書類を点検照合するとともに、定期監査及び例月現金出納検査の結果をも参考にして慎重に審査を行った。

## 第3 審査の結果と意見

審査に付された2事業会計の運営は、経営の基本原則の趣旨に沿って行われており、決算報告書及び財務諸表は、いずれもその計数が正確であり、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示していることを確認した。

なお、各事業会計ごとの概要及び意見は、次のとおりである。

## (1) 岡山県営電気事業会計

### ① 事業の概要

電気事業は、旭川第一発電所、旭川第二発電所、新見発電所、加茂発電所、黒木えん堤発電所、越畑発電所、久賀発電所、倉見発電所、滝ノ谷発電所、梶並発電所、阿波発電所、寄水発電所、津川発電所、大町発電所、千屋発電所、真加子発電所、苫田発電所及び三室発電所の計18発電所（最大出力合計 61,430kW）で発電し、中国電力（株）に対して電力の供給を行っている。

### ② 事業の運営

平成24年度の発電実績は、8月から9月にかけて降水量に恵まれなかったことに加え、新見発電所が水車発電機等改良及び分解点検補修工事のため約5ヶ月間運転を休止したことにより、全発電所の総供給電力量が210,391,868kWhであり、前年度の総供給電力量256,869,927kWhに比べると46,478,059kWh（18.1%）の減となっている。

運営に当たっては、「岡山県企業局経営5ヵ年計画（2010～2014）」（以下「経営5ヵ年計画」という。）に基づき、新見発電所水車発電機等改良及び分解点検補修工事をはじめとした施設整備に取り組むなど、安定経営や信頼性の確保に努めるとともに、小水力発電所の運営や「企業局の森」の整備などにより、水資源の有効活用や水源かん養にも積極的に取り組んでいる。また、再生可能エネルギー固定価格買取制度が設けられたことから、建設から20年未満の6発電所について売電単価の高い同制度に平成25年2月から移行するとともに、同年3月に岡山空港南側法面においてメガソーラー（最大出力3.5MW）の建設に着工し、年内の稼働を目指している。

### ③ 経営の状況

平成24年度の総収益は、21億1,249万余円で、前年度 20億6,367万余円に比べると、4,881万余円（2.4%）の増となっている。これは、主として、受託運転収益及び利子補給金が減少したものの、電力料の増加によるものである。

一方、総費用は、19億3,094万余円で、前年度 20億2,419万余円に比べると、9,324万余円（4.6%）の減となっている。これは、主として、受託運転費、水力発電費及び支払利息の減少によるものである。

以上の結果、平成24年度は、1億8,154万余円（前年度3,948万余円）の純利益を計上

している。

#### ④ 課 題

電力自由化への対応や環境保全対策の推進など、社会情勢の変化に適切に対応するとともに安定的なサービスを提供するためには、一層の効率的な経営体制の整備が必要である。

企業局においては、これまで、発電施設の整備や効率的な業務運営、水源かん養林の整備促進、また、平成25年3月にはメガソーラーの建設に着工し、クリーンエネルギーの導入等に積極的に取り組んできたところであり、今後とも、経営5ヵ年計画に基づき、施設機能の充実・強化を図るなど、電気事業の信頼性と安定経営の確保に努められたい。

また、「岡山県地域防災計画」の見直し等を踏まえ、防災体制の充実など、一層の危機管理の徹底に努められたい。加えて、社会情勢の変化に対応した取組として、小水力発電などの地球環境に優しいクリーンエネルギーの導入を引き続き検討されたい。

## (2) 岡山県営工業用水道事業会計

### ① 事業の概要

工業用水道事業は、水島工業用水道（給水能力日量 708,000 $\text{m}^3$ ）、笠岡工業用水道（給水能力日量 49,700 $\text{m}^3$ ）及び勝央工業用水道（給水能力日量 4,200 $\text{m}^3$ ）によって、水島・児島地区、笠岡地区及び勝央中核工業団地に立地する各企業に対して、工業用水の供給を行っている。

### ② 事業の運営

平成24年度末の基本使用水量は、日量 534,720 $\text{m}^3$ となっており、前年度末の日量 544,970 $\text{m}^3$ に比べると、10,250 $\text{m}^3$ （1.9%）の減となっている。また、実給水量についても、日量平均 443,825 $\text{m}^3$ で前年度に比べると 15,953 $\text{m}^3$ （3.5%）の減となっている。

運営に当たっては、水管橋耐震補強工事や施設の計画的な改良等により、工業用水の安定供給に努めるとともに、太陽光発電システムの活用や浄水汚泥の有効利用による環境保全対策などに積極的に取り組んでいる。

### ③ 経営の状況

平成24年度の総収益は、35億89万余円で、前年度 35億6,362万余円に比べると、6,273万余円（1.8%）の減となっている。これは、主として、特別利益が増加したものの、給水収益の減少によるものである。

一方、総費用は、27億4,950万余円で、前年度 28億3,378万余円に比べると、8,428万余円（3.0%）の減となっている。これは、主として、特別損失が増加したものの、総係費、原水及び浄水費並びに支払利息の減少によるものである。

以上の結果、平成24年度は、7億5,139万余円（前年度 7億2,984万余円）の純利益を計上している。

#### ④ 課 題

工業用水の需要は、平成23年度末、平成24年度末と2年連続で基本使用水量が減少しており、今後の景気動向も不透明であることから、安定的なサービスを提供していくためには、一層の効率的な経営体制の整備が必要である。

企業局においては、これまで、起債の繰上償還、太陽光発電の導入などによるコスト削減や、老朽化した配水管の更新など施設の計画的改良による信頼性の確保に積極的に取り組んできたところであるが、今後とも、経営5カ年計画に基づき、経営の効率化に引き続き努力されるとともに、東日本大震災の被害状況や「岡山県地域防災計画」の見直し等を踏まえ、震災対策の強化など、一層の危機管理の徹底に努められたい。特に、法定耐用年数を超過した配水管については、十分に管理し、安全性を確保されたい。

なお、給水料金等に未収金が認められることから、今後とも給水料金等その収入の確保に努められたい。

## 第4 決算の概要

### 1 岡山県営電気事業会計

#### (1) 決算の状況

##### ア 収益的収入及び支出

##### (ア) 収益的収入

区 分	予 算 額	決 算 額	予 算 額 に 対 する 決 算 額 の 増 減 (△) 額	予 算 額 に 対 する 決 算 額 の 割 合	備 考
電気事業収益	円 2,106,729,000	円 2,213,280,673	円 106,551,673	% 105.06	
営業収益	2,014,718,000	2,124,883,135	110,165,135	105.47	うち仮受消費税及び地方消費税 100,786,458円
財務収益	19,949,000	20,055,174	106,174	100.53	
営業外収益	64,828,000	64,872,920	44,920	100.07	うち仮受消費税及び地方消費税 3,718円
特別利益	7,234,000	3,469,444	△3,764,556	47.96	

##### (イ) 収益的支出

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率	備 考
電気事業費用	円 2,058,407,950	円 2,002,168,484	円 4,200	円 56,235,266	% 97.27	
営業費用	1,827,552,950	1,781,559,554	4,200	45,989,196	97.48	うち仮払消費税及び地方消費税40,085,990円
財務費用	186,867,000	186,623,358	0	243,642	99.87	
営業外費用	33,988,000	33,985,572	0	2,428	99.99	うち仮払消費税及び地方消費税 35,694円
予備費	10,000,000	0	0	10,000,000	0.00	

決算額は以上のとおりであり、収入については、予算額 2,106,729,000円に対して、決算額 2,213,280,673円（105.06%）となっており、支出については、予算額 2,058,407,950円に対して、決算額 2,002,168,484円（97.27%）となっている。

電気事業収益 2,213,280,673円は、営業収益 2,124,883,135円、財務収益 20,055,174円、営業外収益 64,872,920円及び特別利益 3,469,444円である。

営業収益は、主として電力料 2,098,783,974円及び一般会計からの負担金 11,523,750円である。

財務収益は、受取利息であり、営業外収益は、主として利子補給金 64,363,521円である。

特別利益は、不用となった公舎用地の固定資産売却益である。

電気事業費用 2,002,168,484円は、営業費用 1,781,559,554円、財務費用 186,623,358円及び営業外費用 33,985,572円である。

営業費用は、主として水力発電費 1,543,185,863円及び一般管理費 227,026,610円である。

財務費用は、企業債の支払利息であり、営業外費用は、主として消費税及び地方消費税 32,078,300円である。

イ 資本的収入及び支出

(ア) 資本的収入

区 分	予 算 額	決 算 額	予 算 額 に 対 する 決 算 額 の 増 減(△)額	予 算 額 に 対 する 決 算 額 の 割 合	備 考
資本的収入	円 2,301,320,000	円 2,301,261,556	円 △ 58,444	% 100.00	
固定資産売却代金	1,905,000	1,746,556	△158,444	91.68	
投資償還金	299,415,000	299,415,000	0	100.00	
他会計貸付金償還金	2,000,000,000	2,000,000,000	0	100.00	
補助金	0	100,000	100,000	—	

(イ) 資本的支出

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率	備 考
資本的支出	円 1,513,864,300	円 1,449,931,084	円 17,792,625	円 46,140,591	% 95.78	
建設改良費	683,285,300	619,352,929	17,792,625	46,139,746	90.64	うち仮払消費税 及び地方消費税 29,492,996円
企業債償還金	530,579,000	530,578,155	0	845	100.00	
投 資	300,000,000	300,000,000	0	0	100.00	

決算額は以上のとおりであり、収入については、予算額 2,301,320,000円に対して、決算額 2,301,261,556円（100.00%）となっており、支出については、予算額 1,513,864,300円に対して、決算額 1,449,931,084円（95.78%）となっている。

資本的収入 2,301,261,556円は、固定資産売却代金 1,746,556円、投資償還金 299,415,000円、他会計貸付金償還金 2,000,000,000円及び補助金 100,000円である。

投資償還金は、満期になった国債の償還金であり、他会計貸付金償還金は、一般会計への長期貸付金の償還金である。

資本的支出 1,449,931,084円は、建設改良費 619,352,929円、企業債償還金 530,578,155円及び投資 300,000,000円である。

建設改良費は、新見発電所、旭川第一発電所等の改良工事等に要した経費である。

企業債償還金は、企業債の元金償還金であり、投資は譲渡性預金である。

## (2) 損益計算書

ア 平成24年度における総収益 2,112,490,497円は、営業収益 2,024,096,677円、財務収益 20,055,174円、営業外収益 64,869,202円及び特別利益 3,469,444円で、前年度に比べると48,813,821円（2.37%）の増となっている。

これは、主として、受託運転収益及び利子補給金が減少したものの、電力料の増加によるものである。

イ 平成24年度における総費用 1,930,943,952円は、営業費用 1,741,473,564円、財務費用 186,623,358円及び営業外費用 2,847,030円で、前年度に比べると93,249,176円（4.61%）の減となっている。

これは、主として、受託運転費、水力発電費及び支払利息の減少によるものである。

ウ 平成24年度の純利益は、総収益 2,112,490,497円から総費用 1,930,943,952円を差し引いた 181,546,545円で、前年度に比べると 142,062,997円（359.80%）の増となっている。



岡山県営電気事業会計

科 目	借		方	
	平成24年度	平成23年度	増減(△)額	前年度対比
	円	円	円	%
I 営業費用	1,741,473,564	1,814,078,525	△ 72,604,961	96.00
1 水力発電費	1,504,284,792	1,531,999,541	△ 27,714,749	98.19
2 送電費	6,046,389	5,185,020	861,369	116.61
3 一般管理費	226,162,914	241,314,151	△ 15,151,237	93.72
4 受託運転費	4,979,469	35,579,813	△ 30,600,344	14.00
II 財務費用	186,623,358	206,623,673	△ 20,000,315	90.32
1 支払利息	186,623,358	206,623,673	△ 20,000,315	90.32
III 営業外費用	2,847,030	3,490,930	△ 643,900	81.56
1 雑損失	1,165,448	1,219,037	△ 53,589	95.60
2 雑支出	1,681,582	2,271,893	△ 590,311	74.02
総費用 (I+II+III) A	1,930,943,952	2,024,193,128	△ 93,249,176	95.39
営業利益 (IV-I)	282,623,113	148,504,200	134,118,913	190.31
経常利益 (IV+V+VI)-(I+II+III)	178,077,101	39,483,548	138,593,553	451.02
当年度純利益 (C-A) B	181,546,545	39,483,548	142,062,997	459.80
合計 (A+B)	2,112,490,497	2,063,676,676	48,813,821	102.37

## 比較損益計算書

科 目	貸		方	
	平成24年度	平成23年度	増減(△)額	前年度対比
	円	円	円	%
IV 営業収益	2,024,096,677	1,962,582,725	61,513,952	103.13
1 電力料	1,998,841,880	1,908,637,167	90,204,713	104.73
2 営業雑収益	8,956,147	9,007,808	△ 51,661	99.43
3 一般会計からの負担金	10,975,000	10,266,000	709,000	106.91
4 工水会計からの負担金	9,750	9,750	0	100.00
5 受託運転収益	5,313,900	34,662,000	△ 29,348,100	15.33
V 財務収益	20,055,174	20,275,311	△ 220,137	98.91
1 受取利息	20,055,174	20,275,311	△ 220,137	98.91
VI 営業外収益	64,869,202	80,818,640	△ 15,949,438	80.27
1 利子補給金	64,363,521	80,729,113	△ 16,365,592	79.73
2 雑収益	505,681	89,527	416,154	564.84
VII 特別利益	3,469,444	0	3,469,444	—
1 固定資産売却益	3,469,444	0	3,469,444	—
総収益(IV+V+VI+VII) C	2,112,490,497	2,063,676,676	48,813,821	102.37

### (3) 貸借対照表

#### ア 資 産

(ア) 固定資産は、14,509,217,146円で、その内容は、電気事業固定資産 13,163,697,254円、事業外固定資産 33,752,518円、固定資産仮勘定 11,767,374円並びに投資及び基金 1,300,000,000円である。

(イ) 流動資産は、6,242,249,806円で、その内容は、現金預金 5,920,886,745円、未収金 319,910,101円及び貯蔵品 1,452,960円である。

なお、未収金の主なものは、3月分電力料 262,515,003円である。

#### イ 負 債

(ア) 固定負債は、317,793,277円で、その内容は、退職給与引当金 129,242,606円及び修繕準備引当金 188,550,671円である。

(イ) 流動負債は、831,208,167円で、その主な内容は、未払金 824,878,167円である。

なお、未払金の主なものは、修繕費 492,469,418円及び建設改良費 238,187,985円である。

#### ウ 資 本 金

資本金は、18,156,826,900円で、その内容は、自己資本金 12,179,177,146円及び借入資本金 5,977,649,754円である。

なお、借入資本金は、企業債である。

#### エ 剰 余 金

剰余金は、1,445,638,608円で、その内容は、資本剰余金 857,191,895円及び利益剰余金 588,446,713円である。



岡山県営電気事業会計

科 目	借		方	
	平成24年度	平成23年度	増減(△)額	前年度対比
	円	円	円	%
I 固定資産	14,509,217,146	16,601,210,194	△ 2,091,993,048	87.40
1 電気事業固定資産	13,163,697,254	13,254,918,946	△ 91,221,692	99.31
(1) 水力発電設備	27,675,217,230	27,281,279,543	393,937,687	101.44
(2) 送電設備	39,590,830	39,590,830	0	100.00
(3) 業務設備	140,681,049	140,791,749	△ 110,700	99.92
(4) 減価償却累計額	△ 14,691,791,855	△ 14,206,743,176	△ 485,048,679	103.41
2 事業外固定資産	33,752,518	34,327,377	△ 574,859	98.33
(1) 太陽光発電設備	48,234,368	48,234,368	0	100.00
(2) 減価償却累計額	△ 14,481,850	△ 13,906,991	△ 574,859	104.13
3 固定資産仮勘定	11,767,374	11,971,000	△ 203,626	98.30
(1) 建設仮勘定	11,767,374	11,971,000	△ 203,626	98.30
4 投資及び基金	1,300,000,000	3,299,992,871	△ 1,999,992,871	39.39
(1) 投資有価証券	0	299,992,871	△ 299,992,871	0.00
(2) 長期貸付金	1,000,000,000	3,000,000,000	△ 2,000,000,000	33.33
(3) その他投資	300,000,000	0	300,000,000	—
II 流動資産	6,242,249,806	4,132,711,099	2,109,538,707	151.04
1 現金預金	5,920,886,745	3,888,959,515	2,031,927,230	152.25
2 未収金	319,910,101	243,423,984	76,486,117	131.42
3 前払金	0	327,600	△ 327,600	0.00
4 貯蔵品	1,452,960	0	1,452,960	—
資産合計(I+II)	20,751,466,952	20,733,921,293	17,545,659	100.08

## 比較貸借対照表

科 目	貸		方	
	平成24年度	平成23年度	増減(△)額	前年度対比
	円	円	円	%
Ⅲ 固定負債	317,793,277	630,107,351	△ 312,314,074	50.43
1 退職給与引当金	129,242,606	110,509,593	18,733,013	116.95
2 修繕準備引当金	188,550,671	519,597,758	△ 331,047,087	36.29
Ⅳ 流動負債	831,208,167	155,678,809	675,529,358	533.93
1 未払金	824,878,167	154,178,809	670,699,358	535.01
2 その他流動負債	6,330,000	1,500,000	4,830,000	422.00
Ⅴ 資本金	18,156,826,900	18,687,405,055	△ 530,578,155	97.16
1 自己資本金	12,179,177,146	12,179,177,146	0	100.00
2 借入資本金	5,977,649,754	6,508,227,909	△ 530,578,155	91.85
(1) 企業債	5,977,649,754	6,508,227,909	△ 530,578,155	91.85
Ⅵ 剰余金	1,445,638,608	1,260,730,078	184,908,530	114.67
1 資本剰余金	857,191,895	853,829,910	3,361,985	100.39
(1) 受贈財産評価額	93,302,125	90,040,140	3,261,985	103.62
(2) その他資本剰余金	763,889,770	763,789,770	100,000	100.01
2 利益剰余金	588,446,713	406,900,168	181,546,545	144.62
(1) 減債積立金	58,613,851	18,613,851	40,000,000	314.89
(2) 減電補償積立金	348,121,000	348,121,000	0	100.00
(3) 当年度未処分利益剰余金	181,711,862	40,165,317	141,546,545	452.41
① 前年度繰越利益剰余金	165,317	681,769	△ 516,452	24.25
② 当年度純利益	181,546,545	39,483,548	142,062,997	459.80
負債合計(Ⅲ+Ⅳ)	1,149,001,444	785,786,160	363,215,284	146.22
資本合計(Ⅴ+Ⅵ)	19,602,465,508	19,948,135,133	△ 345,669,625	98.27
負債・資本合計	20,751,466,952	20,733,921,293	17,545,659	100.08

## (4) 付 表

## 岡山県営電気事業会計 予算・決算・資金明細表

(単位:円)

区分	科 目	予 算	予算執行額	消 費 税 等	決 算	資 金	説 明	
損 益 計 算 書 事 項	収 入							
	営 業 収 益	2,014,718,000	2,124,883,135	100,786,458	2,024,096,677	2,024,096,677		
	財 務 収 益	19,949,000	20,055,174	0	20,055,174	20,055,174		
	営 業 外 収 益	64,828,000	64,872,920	3,718	64,869,202	64,869,202		
	特 別 利 益	7,234,000	3,469,444	0	3,469,444	3,469,444		
	計 (A)	2,106,729,000	2,213,280,673	100,790,176	2,112,490,497	2,112,490,497		
損 益 計 算 書 事 項	支 出							
	営 業 費 用	1,827,552,950	1,781,559,554	40,085,990	1,741,473,564	1,370,986,958	修繕準備金引当 55,902,450 修繕準備金取崩 △386,949,537 退職給与引当金 18,733,013	
	財 務 費 用	186,867,000	186,623,358	0	186,623,358	186,623,358	減価償却費 有形 622,263,200 減価償却費 無形 35,330,045	
	営 業 外 費 用	33,988,000	33,985,572	35,694	2,847,030	718,848	固定資産除却損 25,207,435 減価償却費 有形 574,859 国債償還差損 577,871	
	予 備 費	10,000,000	0	0	0	0	控除対象外消費税 975,452	
		計 (B)	2,058,407,950	2,002,168,484	40,121,684	1,930,943,952	1,558,329,164	
貸 借 対 照 表 事 項	資 本 的 収 入							
	固 定 資 産 売 却 代 金	1,905,000	1,746,556	0	1,746,556	1,746,556		
	投 資 償 還 金	299,415,000	299,415,000	0	299,415,000	299,415,000		
	他 会 計 貸 付 金 償 還 金	2,000,000,000	2,000,000,000	0	2,000,000,000	2,000,000,000		
	補 助 金	0	100,000	0	100,000	100,000		
	計 (C)	2,301,320,000	2,301,261,556	0	2,301,261,556	2,301,261,556		
貸 借 対 照 表 事 項	貸 出							
	建 設 改 良 費	683,285,300	619,352,929	29,492,996	589,859,933	589,859,933		
	企 業 債 償 還 金	530,579,000	530,578,155	0	530,578,155	530,578,155		
	投 資	300,000,000	300,000,000	0	300,000,000	300,000,000		
	計 (D)	1,513,864,300	1,449,931,084	29,492,996	1,420,438,088	1,420,438,088		
貸 借 対 照 表 事 項	収 入							
	繰 越 現 金 預 金	—	—	—	—	3,888,959,515		
	短 期 貸 付 金	—	—	—	—	1,500,000,000		
	未 収 金	—	—	—	—	△ 76,486,117		
	預 り 金	—	—	—	—	769,652,230		
	仮 受 消 費 税 等	—	—	—	—	100,790,176		
	計 (E)	—	—	—	—	6,182,915,804		
貸 借 対 照 表 事 項	支 出							
	前 払 金	—	—	—	—	△ 327,600		
	貯 蔵 品 購 入 額	—	—	—	—	1,452,960		
	短 期 貸 付 金	—	—	—	—	1,500,000,000		
	未 払 金	—	—	—	—	△ 638,621,058		
	預 り 金	—	—	—	—	764,822,230		
仮 払 消 費 税 等	—	—	72,648	—	69,687,328			
	計 (F)	—	—	72,648	—	1,697,013,860		
	差 引 残 高 A+C+E-B-D-F	—	—	31,102,848	—	5,920,886,745	翌年度への繰越現金預金	



(5) 参考

## 岡山県営電気事業会計 決算分析表

(単位：%)

項 目		本 県		全国平均	
		平成 24年度	平成 23年度	平成 23年度	
①	総収支比率	$\frac{\text{総 収 益}}{\text{総 費 用}} \times 100$	109.4	102.0	107.8
②	営業収支比率	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$	116.2	108.2	112.4
③	流動比率	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$	751.0	2,654.6	1,465.9
④	現金比率	$\frac{\text{現 金 預 金}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$	712.3	2,498.1	1,216.4
⑤	自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	65.7	64.8	77.4
⑥	固定資産対長期資本比率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{固定負債} + \text{資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	72.8	80.7	74.6
⑦	企業債償還元金対減価償却費比率	$\frac{\text{企 業 債 償 還 元 金}}{\text{当 年 度 減 価 償 却 費}} \times 100$	80.7	80.3	73.7
⑧	企業債元金対利息収入比率	$\frac{\text{企 業 債 元 金}}{\text{利 息 収 入}} \times 100$	35.9	38.8	25.1
	企業債償還元金対利息収入比率	$\frac{\text{企 業 債 償 還 元 金}}{\text{利 息 収 入}} \times 100$	26.5	28.0	18.9
	企業債利息対料率	$\frac{\text{企 業 債 利 息}}{\text{料 金 収 入}} \times 100$	9.3	10.8	6.2
	職員給与対料率	$\frac{\text{職 員 給 与 費}}{\text{料 金 収 入}} \times 100$	22.8	24.6	24.2

(注) 全国平均は、平成23年度地方公営企業年鑑（総務省自治財政局編）の平均値

- ① **総収支比率**は、総費用に対する総収益の割合を示す。100 %未満であれば赤字が生じている。
- ② **営業収支比率**は、営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示す。比率が高いほど営業利益率が良いことを表す。
- ③ **流動比率**は、流動負債に対する流動資産の割合であり、短期債務に対する支払能力を表している。
- ④ **現金比率**は、流動負債の直接的支払能力を示すものである。
- ⑤ **自己資本構成比率**は、総資本（負債及び資本）に占める自己資本の割合であり、この比率が高いほど経営が安定していることを示す。
- ⑥ **固定資産対長期資本比率**は、固定資産がどの程度返済期限のない自己資本や長期に活用可能な固定負債などの長期資本によって調達されているかを示すものである。常に100 %以下で、かつ、低いことが望ましい。
- ⑦ **企業債償還元金対減価償却費比率**は、企業債償還元金と固定資産の更新財源である減価償却費（内部留保資金）とを対比したもので、この比率が低いほど健全である。
- ⑧ **料金収入に対する経費（企業債元利償還金、企業債償還元金、企業債利息、職員給与費）の比率**は、料金収入に対する企業債償還及び人件費の割合を示す。

## 2 岡山県営工業用水道事業会計

### (1) 決算の状況

#### ア 収益的収入及び支出

##### (ア) 収益的収入

区 分	予 算 額	決 算 額	予 算 額 に 対 する 決 算 額 の 増 減 (△) 額	予 算 額 に 対 する 決 算 額 の 割 合	備 考
工業用水道	円	円	円	%	
事業収益	3,624,658,000	3,670,254,530	45,596,530	101.26	
営業収益	3,494,441,000	3,497,216,270	2,775,270	100.08	うち仮受消費税及び 地方消費税 166,432,321円
財務収益	40,932,000	41,156,684	224,684	100.55	
営業外収益	88,875,000	83,184,252	△5,690,748	93.60	うち仮受消費税及び 地方消費税 2,928,269円
特別利益	410,000	48,697,324	48,287,324	11,877.40	

##### (イ) 収益的支出

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執行率	備 考
工業用水道	円	円	円	%	
事業費用	3,015,918,300	2,909,009,969	106,908,331	96.46	
営業費用	2,459,715,300	2,366,701,065	93,014,235	96.22	うち仮払消費税及び 地方消費税 41,742,590円
財務費用	298,176,000	297,931,542	244,458	99.92	
営業外費用	126,431,000	126,426,800	4,200	100.00	うち仮払消費税及び 地方消費税 94,237円
特別損失	119,596,000	117,950,562	1,645,438	98.62	
予備費	12,000,000	0	12,000,000	0.00	

決算額は以上のとおりであり、収入については、予算額 3,624,658,000円に対して、決算額 3,670,254,530円(101.26%)となっており、支出については、予算額3,015,918,300円に対して、決算額 2,909,009,969円 (96.46%) となっている。

工業用水道事業収益 3,670,254,530円は、営業収益 3,497,216,270円、財務収益 41,156,684円、営業外収益 83,184,252円及び特別利益 48,697,324円である。

営業収益は、主として給水収益 3,495,078,750円である。

財務収益は、受取利息 41,156,684円であり、営業外収益は、主として負担金 77,344,154円及び受託工事収益 4,393,200円である。

特別利益は、給水承認取消に係る企業からの負担金41,178,800円及び不用となった公舎用地の固定資産売却益7,518,524円である。

工業用水道事業費用 2,909,009,969円は、営業費用 2,366,701,065円、財務費用 297,931,542円、営業外費用 126,426,800円及び特別損失 117,950,562円である。

営業費用は、主として減価償却費 915,561,497円、人件費 513,409,162円及び動力費 311,517,926円である。

財務費用は、企業債の支払利息であり、営業外費用は、主として消費税及び地方消費税 118,497,200円である。

特別損失は、固定資産除却 65,267,978円及び給水承認取消負担金の不納欠損 52,682,584円である。

イ 資本的収入及び支出

(ア) 資本的収入

区 分	予 算 額	決 算 額	予 算 額 に 対 する 決 算 額 の 増 減(△)額	予 算 額 に 対 する 決 算 額 の 割 合	備 考
資本的収入	円 2,598,735,000	円 2,599,893,476	円 1,158,476	% 100.04	
固定資産売却 代金	100,000	1,158,476	1,058,476	1,158.48	
投資償還金	698,635,000	698,635,000	0	100.00	
他会計貸付金 償還金	1,900,000,000	1,900,000,000	0	100.00	
補 助 金	0	100,000	100,000	—	

(イ) 資本的支出

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率	備 考
資本的支出	円 1,866,961,150	円 1,787,506,193	円 45,886,800	円 33,568,157	% 95.74	
建設改良費	284,701,150	205,248,887	45,886,800	33,565,463	72.09	うち仮払消費税 及び地方消費税 9,773,434円
企業債償還金	882,260,000	882,257,306	0	2,694	100.00	
投 資	700,000,000	700,000,000	0	0	100.00	

決算額は以上のとおりであり、収入については、予算額 2,598,735,000円に対して、決算額 2,599,893,476円（100.04%）となっており、支出については予算額 1,866,961,150円に対して、決算額 1,787,506,193円（95.74%）となっている。

資本的収入 2,599,893,476円は、固定資産売却代金 1,158,476円、投資償還金 698,635,000円、他会計貸付金償還金 1,900,000,000円及び補助金 100,000円である。

投資償還金は、満期になった国債の償還金であり、他会計貸付金償還金は、一般会計への長期貸付金の償還金である。

資本的支出 1,787,506,193円は、建設改良費 205,248,887円、企業債償還金 882,257,306円及び投資 700,000,000円である。

建設改良費は、亀島3号配水ポンプ用電動機取替工事等の改良工事費等である。

企業債償還金は、企業債の元金償還金であり、投資は譲渡性預金である。

## (2) 損益計算書

ア 平成24年度における総収益 3,500,893,940円は、営業収益 3,330,783,949円、財務収益 41,156,684円、営業外収益 80,255,983円及び特別利益 48,697,324円で、前年度に比べると 62,733,927円 (1.76%)の減となっている。

これは、主として、特別利益が増加したものの、給水収益の減少によるものである。

イ 平成24年度における総費用 2,749,502,813円は、営業費用 2,324,958,475円、財務費用 297,931,542円、営業外費用 8,662,234円及び特別損失 117,950,562円で、前年度に比べると84,281,967円 (2.97%)の減となっている。

これは、主として、特別損失が増加したものの、総係費、原水及び浄水費並びに支払利息の減少によるものである。

ウ 平成24年度の純利益は、総収益 3,500,893,940円から総費用 2,749,502,813円を差し引いた 751,391,127円で、前年度に比べると 21,548,040円 (2.95%)の増となっている。



岡山県営工業用水道事業会計

科 目	借		方	
	平成 24 年 度 円	平成 23 年 度 円	増 減 ( △ ) 円	前年度対比 %
I 営 業 費 用	2,324,958,475	2,493,663,822	△ 168,705,347	93.23
1 原水及び浄水費	568,110,711	638,104,011	△ 69,993,300	89.03
2 配水及び給水費	302,883,923	305,760,205	△ 2,876,282	99.06
3 業 務 費	127,508,255	128,532,377	△ 1,024,122	99.20
4 総 係 費	386,724,416	465,520,092	△ 78,795,676	83.07
5 減 価 償 却 費	915,561,497	942,564,273	△ 27,002,776	97.14
6 資 産 減 耗 費	24,056,113	13,182,864	10,873,249	182.48
7 その他営業費用	113,560	0	113,560	—
II 財 務 費 用	297,931,542	332,698,419	△ 34,766,877	89.55
1 支払利息及び 企業債取扱諸費	297,931,542	332,698,419	△ 34,766,877	89.55
III 営 業 外 費 用	8,662,234	7,422,539	1,239,695	116.70
1 受 託 工 事 費	4,386,206	3,067,994	1,318,212	142.97
2 雑 損 出	1,348,365	0	1,348,365	—
3 雑 支 出	2,927,663	4,354,545	△ 1,426,882	67.23
IV 特別損失	117,950,562	0	117,950,562	—
1 その他特別損失	117,950,562	0	117,950,562	—
総費用 (I+II+III+IV) A	2,749,502,813	2,833,784,780	△ 84,281,967	97.03
営業利益 (V-I)	1,005,825,474	943,589,676	62,235,798	106.60
経常利益 (V+VI+VII) - (I+II+III)	820,644,365	724,343,087	96,301,278	113.29
当年度純利益 (C-A) B	751,391,127	729,843,087	21,548,040	102.95
合 計 (A+B)	3,500,893,940	3,563,627,867	△ 62,733,927	98.24

## 比較損益計算書

科 目	貸		方	
	平成 24 年 度	平成 23 年 度	増 減 ( △ ) 額	前年度対比
	円	円	円	%
V 営業収益	3,330,783,949	3,437,253,498	△ 106,469,549	96.90
1 給水収益	3,328,646,429	3,434,986,218	△ 106,339,789	96.90
2 その他営業収益	2,137,520	2,267,280	△ 129,760	94.28
VI 財務収益	41,156,684	49,123,029	△ 7,966,345	83.78
1 受取利息及び 配当金	41,156,684	49,123,029	△ 7,966,345	83.78
VII 営業外収益	80,255,983	71,751,340	8,504,643	111.85
1 受託工事収益	4,184,000	2,937,000	1,247,000	142.46
2 負担金	74,688,905	67,740,958	6,947,947	110.26
3 雑収益	1,383,078	1,073,382	309,696	128.85
VIII 特別利益	48,697,324	5,500,000	43,197,324	885.41
1 固定資産売却益	7,518,524	0	7,518,524	—
2 その他特別利益	41,178,800	5,500,000	35,678,800	748.71
総収益 (V+VI+VII+VIII) C	3,500,893,940	3,563,627,867	△ 62,733,927	98.24

### (3) 貸借対照表

#### ア 資 産

(ア) 固定資産は 43,561,999,792円で、その内容は、有形固定資産 35,302,407,187円、無形固定資産 2,559,592,605円及び投資 5,700,000,000円である。

(イ) 流動資産は、8,997,566,196円で、その内容は、現金預金 8,623,036,395円、未収金 347,461,359円及び貯蔵品 27,068,442円である。

なお、未収金の主なものは、給水料金 304,609,736円及び給水承認取消負担金 26,680,400円などである。

#### イ 負 債

(ア) 固定負債は、1,381,274,851円で、その内容は、退職給与引当金 500,415,627円及び修繕引当金 880,859,224円である。

(イ) 流動負債は、432,060,766円で、その主な内容は、未払金 428,114,266円である。

なお、未払金の主なものは、修繕費 115,286,402円、退職給与金 92,681,710円及び建設改良費 90,373,645円である。

#### ウ 資 本 金

資本金は、30,381,994,646円で、その内容は、自己資本金 22,530,448,020円及び借入資本金 7,851,546,626円である。

なお、借入資本金は、企業債である。

#### エ 剰 余 金

剰余金は、20,364,235,725円で、その内容は、資本剰余金 18,058,390,499円及び利益剰余金 2,305,845,226円である。



岡山県営工業用水道事業会計

科 目	借		方	
	平成 24 年 度 円	平成 23 年 度 円	増 減 ( △ ) 額 円	前年度対比 %
I 固 定 資 産	43,561,999,792	46,254,530,918	△ 2,692,531,126	94.18
1 有形固定資産	35,302,407,187	35,948,832,787	△ 646,425,600	98.20
(1) 土 地	2,040,954,266	2,042,269,325	△ 1,315,059	99.94
(2) 水源かん養林	290,819,111	290,819,111	0	100.00
(3) 建 物	2,143,856,011	2,145,551,011	△ 1,695,000	99.92
(4) 構 築 物	35,409,670,098	35,384,622,098	25,048,000	100.07
(5) 機械及び装置	14,717,335,398	14,713,919,747	3,415,651	100.02
(6) 車両運搬具	23,760,306	23,025,546	734,760	103.19
(7) 船 舶	12,617,256	12,617,256	0	100.00
(8) 工具器具及び備品	84,856,117	83,454,348	1,401,769	101.68
(9) 減価償却累計額	△ 20,445,701,625	△ 19,772,832,853	△ 672,868,772	103.40
(10) 建設仮勘定	1,024,240,249	1,025,387,198	△ 1,146,949	99.89
2 無形固定資産	2,559,592,605	2,705,714,766	△ 146,122,161	94.60
(1) 電話加入権	3,104,592	3,125,625	△ 21,033	99.33
(2) 施設利用権	61,530	108,736	△ 47,206	56.59
(3) 地 上 権	2,322,206	2,535,167	△ 212,961	91.60
(4) 水 利 権	2,508,814,603	2,669,229,275	△ 160,414,672	93.99
(5) その他無形固定資産	45,289,674	30,715,963	14,573,711	147.45
3 投 資	5,700,000,000	7,599,983,365	△ 1,899,983,365	75.00
(1) 投資有価証券	0	699,983,365	△ 699,983,365	0.00
(2) 長期貸付金	3,000,000,000	4,900,000,000	△ 1,900,000,000	61.22
(3) その他投資	2,700,000,000	2,000,000,000	700,000,000	135.00
II 流 動 資 産	8,997,566,196	6,454,024,297	2,543,541,899	139.41
1 現 金 預 金	8,623,036,395	6,045,135,213	2,577,901,182	142.64
2 未 収 金	347,461,359	370,070,852	△ 22,609,493	93.89
3 貯 蔵 品	27,068,442	25,601,632	1,466,810	105.73
4 前 払 金	0	12,216,600	△ 12,216,600	0.00
5 その他流動資産	0	1,000,000	△ 1,000,000	0.00
資産合計(I+II)	52,559,565,988	52,708,555,215	△ 148,989,227	99.72

## 比較貸借対照表

科 目	貸		方	
	平成 24 年 度 円	平成 23 年 度 円	増 減 (△) 額 円	前年度対比 %
Ⅲ 固 定 負 債	1,381,274,851	1,561,579,891	△ 180,305,040	88.45
1 引 当 金	1,381,274,851	1,561,579,891	△ 180,305,040	88.45
(1) 退職給与引当金	500,415,627	530,606,337	△ 30,190,710	94.31
(2) 修繕引当金	880,859,224	1,030,973,554	△ 150,114,330	85.44
Ⅳ 流 動 負 債	432,060,766	275,414,774	156,645,992	156.88
1 未 払 金	428,114,266	272,785,274	155,328,992	156.94
2 その他流動負債	3,946,500	2,629,500	1,317,000	150.09
Ⅴ 資 本 金	30,381,994,646	31,264,251,952	△ 882,257,306	97.18
1 自 己 資 本 金	22,530,448,020	22,530,448,020	0	100.00
2 借 入 資 本 金	7,851,546,626	8,733,803,932	△ 882,257,306	89.90
(1) 企 業 債	7,851,546,626	8,733,803,932	△ 882,257,306	89.90
Ⅵ 剰 余 金	20,364,235,725	19,607,308,598	756,927,127	103.86
1 資 本 剰 余 金	18,058,390,499	18,052,854,499	5,536,000	100.03
(1) 受贈財産評価額	572,266,072	566,830,072	5,436,000	100.96
(2) その他資本剰余金	17,486,124,427	17,486,024,427	100,000	100.00
2 利 益 剰 余 金	2,305,845,226	1,554,454,099	751,391,127	148.34
(1) 減債積立金	1,554,000,000	824,000,000	730,000,000	188.59
(2) 当年度未処分利益剰余金	751,845,226	730,454,099	21,391,127	102.93
①前年度繰越利益剰余金	454,099	611,012	△ 156,913	74.32
②当年度純利益	751,391,127	729,843,087	21,548,040	102.95
負債合計 (Ⅲ+Ⅳ)	1,813,335,617	1,836,994,665	△ 23,659,048	98.71
資本合計 (Ⅴ+Ⅵ)	50,746,230,371	50,871,560,550	△ 125,330,179	99.75
負債・資本合計	52,559,565,988	52,708,555,215	△ 148,989,227	99.72

## (4) 付表 岡山県営工業用水道事業会計 予算・決算・資金明細表

(単位：円)

区 分	科 目	予 算	予算執行額	消 費 税 等	決 算	資 金	説 明	
損 益 計 算 書 事 項	収 入	営業収益	3,494,441,000	3,497,216,270	166,432,321	3,330,783,949	3,330,783,949	
		財務収益	40,932,000	41,156,684	0	41,156,684	41,156,684	
		営業外収益	88,875,000	83,184,252	2,928,269	80,255,983	80,255,983	
		特別利益	410,000	48,697,324	0	48,697,324	48,697,324	
		計(A)	3,624,658,000	3,670,254,530	169,360,590	3,500,893,940	3,500,893,940	
	支 出	営業費用	2,459,715,300	2,366,701,065	41,742,590	2,324,958,475	1,577,984,005	退職給与引当金 △ 30,190,710 修繕引当金 △ 150,114,330 貯蔵品 133,190 減価償却費 915,561,497 固定資産除却損 11,471,263 予納金未返還額 113,560
		財務費用	298,176,000	297,931,542	0	297,931,542	297,931,542	
		営業外費用	126,431,000	126,426,800	94,237	8,662,234	6,486,998	国債満期償還差額 1,348,365 控除対象外消費税 826,871
		特別損失	119,596,000	117,950,562	0	117,950,562	0	固定資産除却 65,267,978 不納欠損 52,682,584
		予備費	12,000,000	0	0	0	0	
計(B)	3,015,918,300	2,909,009,969	41,836,827	2,749,502,813	1,882,402,545			
貸 借 対 照 表 事 項	資 本 的 収 入	固定資産売却代金	100,000	1,158,476	0	1,158,476	1,158,476	
		補助金		100,000		100,000	100,000	
		投資償還金	698,635,000	698,635,000	0	698,635,000	698,635,000	
		他会計貸付金償還金	1,900,000,000	1,900,000,000	0	1,900,000,000	1,900,000,000	
		計(C)	2,598,735,000	2,599,893,476	0	2,599,893,476	2,599,893,476	
	借 入 支 出	建設改良費	284,701,150	205,248,887	9,773,434	195,475,453	195,475,453	
		企業債償還金	882,260,000	882,257,306	0	882,257,306	882,257,306	
		その他投資	700,000,000	700,000,000	0	700,000,000	700,000,000	
		計(D)	1,866,961,150	1,787,506,193	9,773,434	1,777,732,759	1,777,732,759	
		そ の 他 収 入 支 出	繰越現金預金	—	—	—	—	6,045,135,213
未収金	—		—	—	—	△ 30,073,091		
短期貸付金	—		—	—	—	2,500,000,000		
その他流動資金	—		—	—	—	886,440		
預り金	—		—	—	—	97,899,322		
仮受消費税等	—		—	—	—	169,360,590		
計(E)	—		—	—	—	8,783,208,474		
未払金	—		—	—	—	△ 121,069,992		
短期貸付金	—		—	—	—	2,500,000,000		
前払金	—		—	—	—	72,021,600		
貯蔵品購入額	—	—	—	—	1,600,000			
預り金	—	—	—	—	96,582,322			
その他流動資金	—	—	—	—	0			
仮払消費税等	—	—	80,000	—	51,690,261			
計(F)	—	—	80,000	—	2,600,824,191			
差 引 残 高	A+C+E-B-D-F	—	—	117,670,329	—	8,623,036,395	翌年度への繰越現金預金	



(5) 参考

## 岡山県営工業用水道事業会計 決算分析表

(単位：%)

項 目		本 県		全国平均	
		平成 24年度	平成 23年度	平成 23年度	
①	総収支比率	$\frac{\text{総 収 益}}{\text{総 費 用}} \times 100$	127.3	125.8	118.6
②	営業収支比率	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$	143.3	137.8	124.3
③	流動比率	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$	2,082.5	2,343.4	764.1
④	現金比率	$\frac{\text{現 金 預 金}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$	1,995.8	2,194.9	567.7
⑤	自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	81.6	79.9	66.6
⑥	固定資産対長期資本比率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{固定負債} + \text{資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	83.6	88.2	90.6
⑦	企業債償還元金 対減価償却費比率	$\frac{\text{企 業 債 償 還 元 金}}{\text{当 年 度 減 価 償 却 費}} \times 100$	96.4	94.0	79.2
⑧	企業債元利 償還金対料 金収入比率	$\frac{\text{企 業 債 元 利 償 還 金}}{\text{料 金 収 入}} \times 100$	35.5	35.5	39.9
	企業債償還 元金対料 金収入比率	$\frac{\text{企 業 債 償 還 元 金}}{\text{料 金 収 入}} \times 100$	26.5	25.8	29.7
	企業債利息 対料 金収入比率	$\frac{\text{企 業 債 利 息}}{\text{料 金 収 入}} \times 100$	9.0	9.7	10.2
	職員給与 対料 金収入比率	$\frac{\text{職 員 給 与 費}}{\text{料 金 収 入}} \times 100$	15.4	17.1	12.3

(注) 全国平均は、平成23年度地方公営企業年鑑（総務省自治財政局編）の平均値

- ① **総収支比率**は、総費用に対する総収益の割合を示す。100%未満であれば赤字が生じている。
- ② **営業収支比率**は、営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示す。比率が高いほど営業利益率が良いことを表す。
- ③ **流動比率**は、流動負債に対する流動資産の割合であり、短期債務に対する支払能力を表している。
- ④ **現金比率**は、流動負債の直接的支払能力を示すものである。
- ⑤ **自己資本構成比率**は、総資本（負債及び資本）に占める自己資本の割合であり、この比率が高いほど経営が安定していることを示す。
- ⑥ **固定資産対長期資本比率**は、固定資産がどの程度返済期限のない自己資本や長期に活用可能な固定負債などの長期資本によって調達されているかを示すものである。常に100%以下で、かつ、低いことが望ましい。
- ⑦ **企業債償還元金対減価償却費比率**は、企業債償還元金と固定資産の更新財源である減価償却費（内部留保資金）とを対比したもので、この比率が低いほど健全である。
- ⑧ **料金収入に対する経費（企業債元利償還金、企業債償還元金、企業債利息、職員給与費）の比率**は、料金収入に対する企業債償還及び人件費の割合を示す。

